

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	一橋大学	整理番号	1-5-031
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	人間環境キーステーションとまちづくり授業		
申請単位	大学全体		
申請担当者	林 大樹		
<p>(取組の概要)</p> <p><b>「人間環境キーステーションとまちづくり授業」の取組</b></p> <p>「まちづくり」授業は、学部学生全員が履修可能な授業科目として 2002 年 4 月に開講された。地域の課題についてのプロジェクト活動を中核とし、教育環境、商店街活性化、ゴミ・環境対策、緑化、バリアフリー、国際交流・異文化理解、地域通貨など多彩なテーマに取り組んでいる。また、「人間環境キーステーション」構想にもとづき、空き店舗を活用した地域活動拠点を 2003 年 7 月に開設した。同拠点は商店会、行政、市民などと大学が協働するための組織を持つが、NPO 法人化準備中である組織の理事会と事務局の両方で学生は大きな役割を分担している。学生は次々と生起する現実問題の渦中で自我関与の高い「現場生成型」学習を通じて、実践的な知識・能力を獲得しつつあり、本取組は本学教育目標の一つである「市民的公共性と国際性を備えた専門人や政治経済社会のリーダーの育成」に有効な授業モデルとなっている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、一橋大学の教育目標である「教養ある市民、市民的公共性と国際性を備えた専門人や政治経済社会のリーダー育成」を達成するために、新しい教育の取り組みとして学生、大学、地域のコラボレーションを地域から始めようという試みです。</p> <p>このため、大学授業「まちづくり」と「くにたち富士見台人間環境キーステーション (KF)」の 2 つの仕組みから「人間環境キーステーション構想」を推進しています。</p> <p>学生主体でプロジェクトをすでに 10 本以上立ち上げ、地域課題を解決する方式で特色があります。プロジェクトがモデルになり次々生まれるならばこの取組は他大学の参考になる事例と言えます。</p> <p>この取組は、学生、大学、地域の評価の確立、大学授業へのフィードバック、全学対象にも関わらず学生参加が少ないなどの課題がありますがこれを克服すれば更なる発展が期待されます。</p>			